

5. 文化芸術について

(1) 文化芸術への関心【新規設問】

問22 文化芸術に関心はありますか。(〇は1つだけ)

○文化芸術への関心は、「ある」が51.1%で最も多く約半数であり、「ない」が20.3%、「わからない」は26.4%となっている。

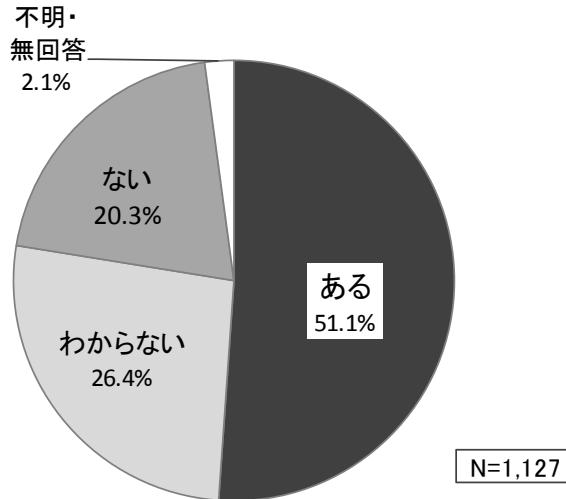


図 105 文化芸術への関心

○性別に文化芸術への関心がある人の割合をみると、女性（53.3%）の方が男性（48.5%）より4.8ポイント高くなっている。

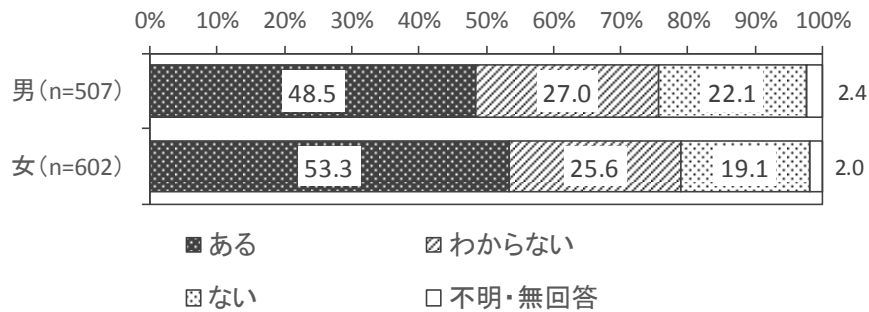


図 106 文化芸術への関心《性別》

○年代別に文化芸術への関心がある人の割合をみると、概ね年代が上がるほど関心が高く、60歳代で57.8%と最も高くなっている。一方で、20～30歳代以下では「ない」が4割弱と比較的高くなっている。

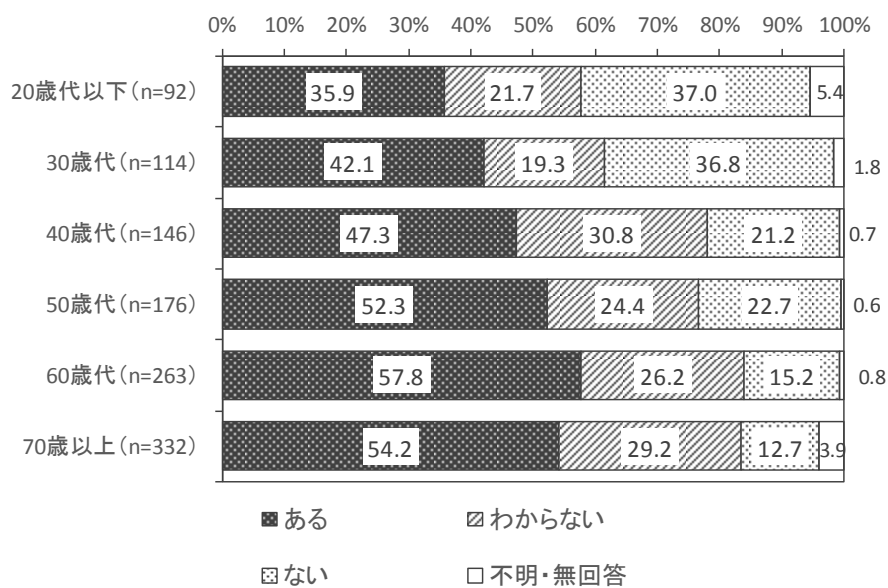


図 107 文化芸術への関心《年代別》

○居住地域別に文化芸術への関心がある人の割合をみると、水口地域で53.4%と最も高く、甲賀地域で46.8%と最も低くなっている。

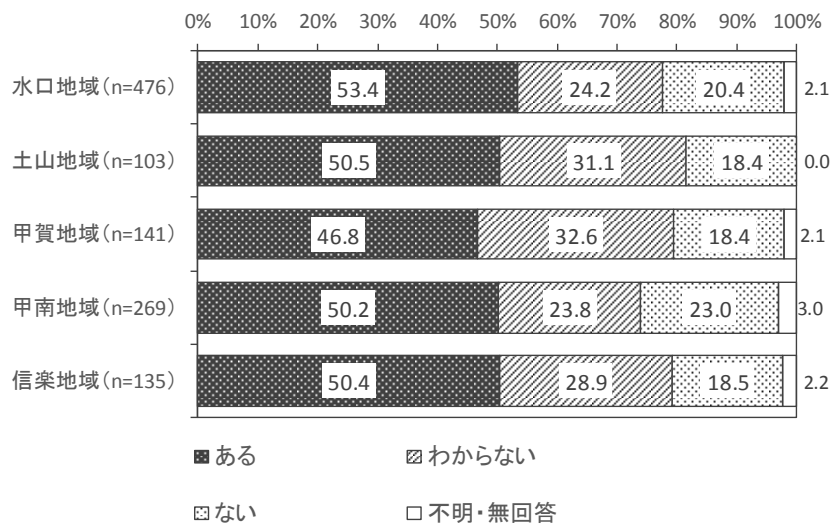


図 108 文化芸術への関心《居住地域別》

○世帯構成別に文化芸術への関心がある人の割合をみると、単身世帯及びその他で比較的高くなっている。

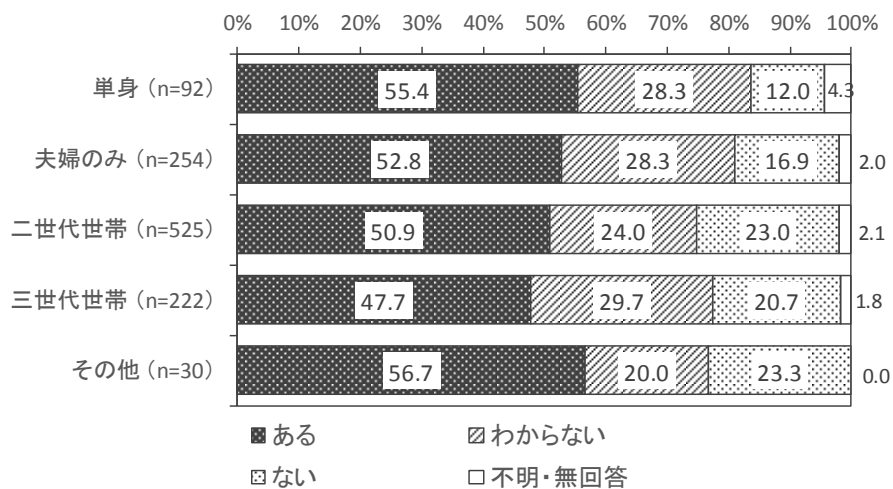


図 109 文化芸術への関心《世帯構成別》

○現在の生活に幸せを感じるか別（問11）別にみると、幸せを感じないという人で、文化芸術への関心が「ない」割合が高く36.8%となっている。一方で、どちらともいえないという人では、「わからない」が33.2%で比較的高くなっている。

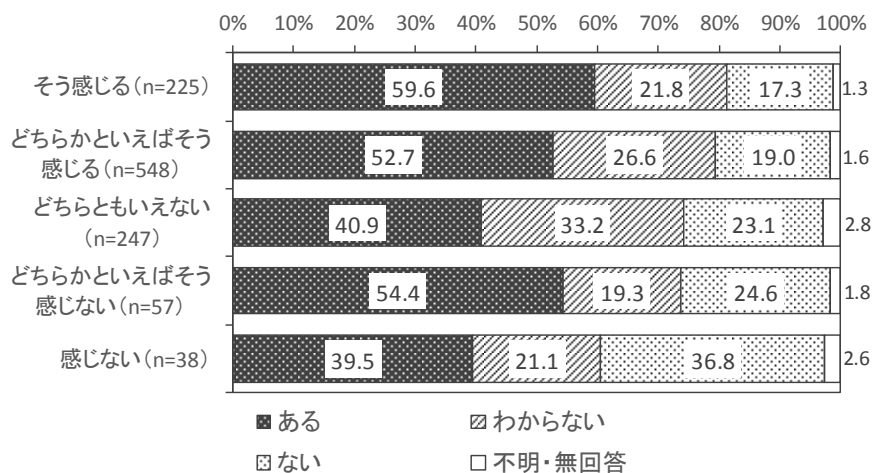


図 110 文化芸術への関心《問 11 現在の生活に幸せを感じるか別》

○年代別に甲賀市の文化芸術が豊かだと思う割合をみると、70歳代以上が37.7%で最も高く、以下、60歳代が28.5%、40歳代が27.4%と続いている。一方、『思わない』と回答した割合は、50歳代が38.1%で最も高くなっている。

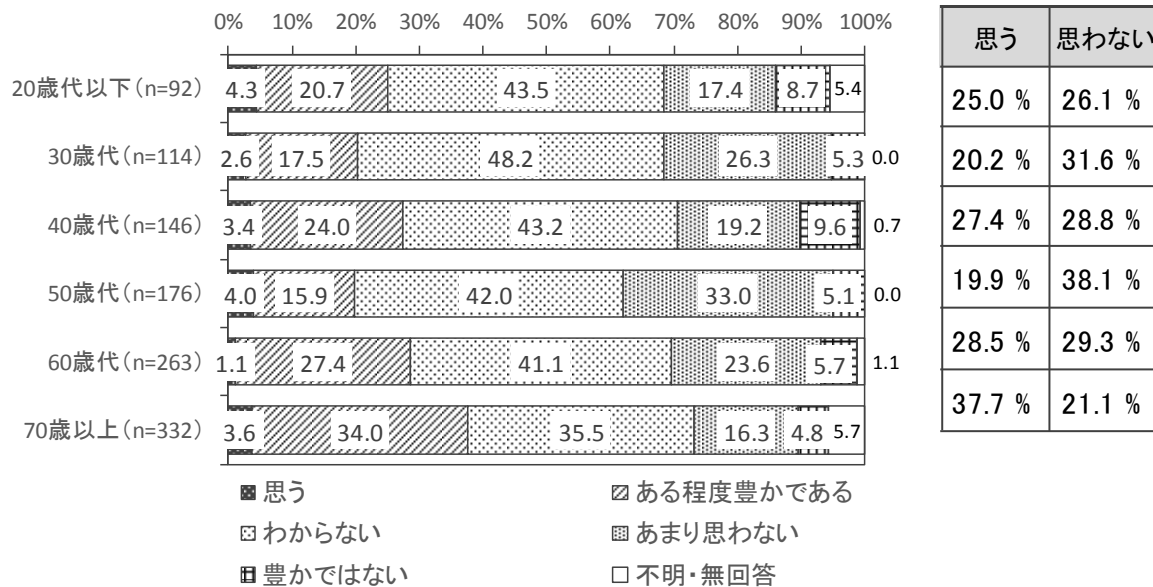


図 113 甲賀市の文化芸術について《年代別》

○居住地域別に甲賀市の文化芸術が豊かだと思う割合をみると、土山地域が35.9%で最も高く、次いで、信楽地域が35.6%となっている。一方、甲南地域では21.6%で最も低くなっており、土山地域との差は14.3ポイントとなっている。

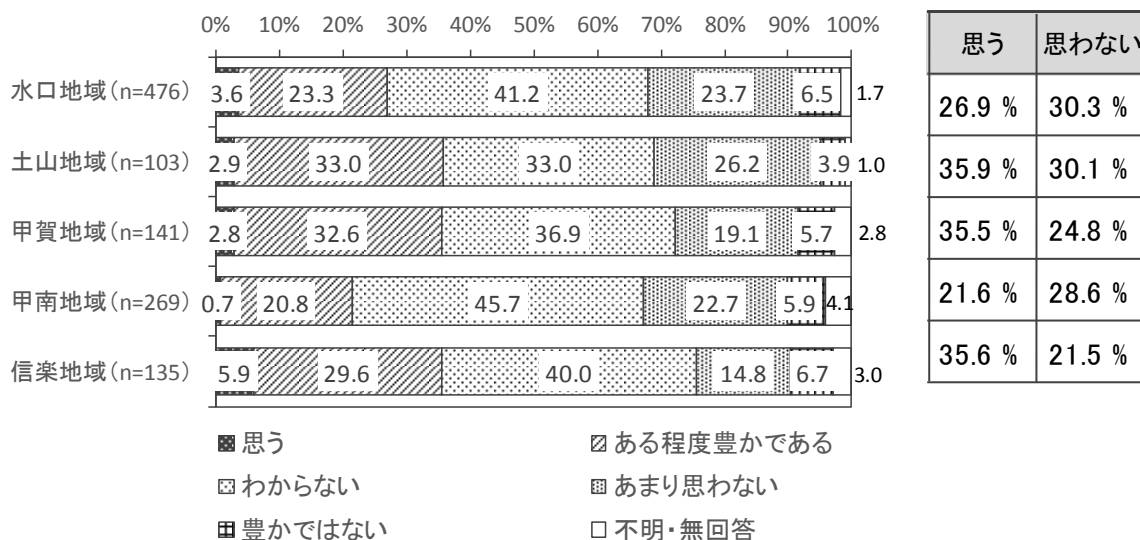


図 114 甲賀市の文化芸術について《居住地域別》

○甲賀市への愛着（問7）別に甲賀市の文化芸術が豊かだと思ふ割合をみると、概ね愛着があるほど高く、愛着があるでは40.1%、続くまあまあ愛着があるでは25.8%となっている。一方、愛着がないでは『思わない』と回答した割合が65.9%と6割を超えて高くなっている。

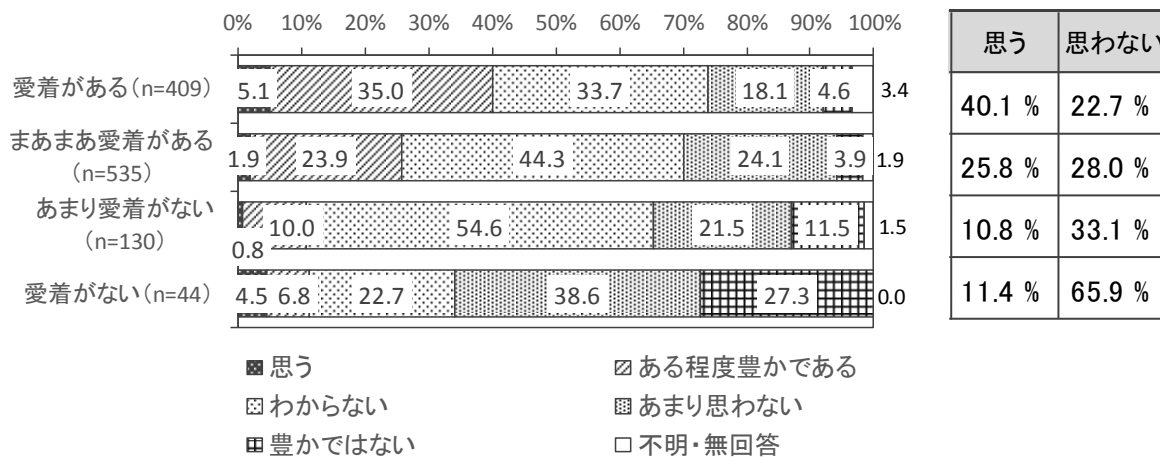


図 115 甲賀市の文化芸術について《問7 甲賀市への愛着別》

○甲賀市の魅力を自慢できるか（問8）別に甲賀市の文化芸術が豊かだと思ふ割合をみると、自慢できるという人ほど高くなっている。

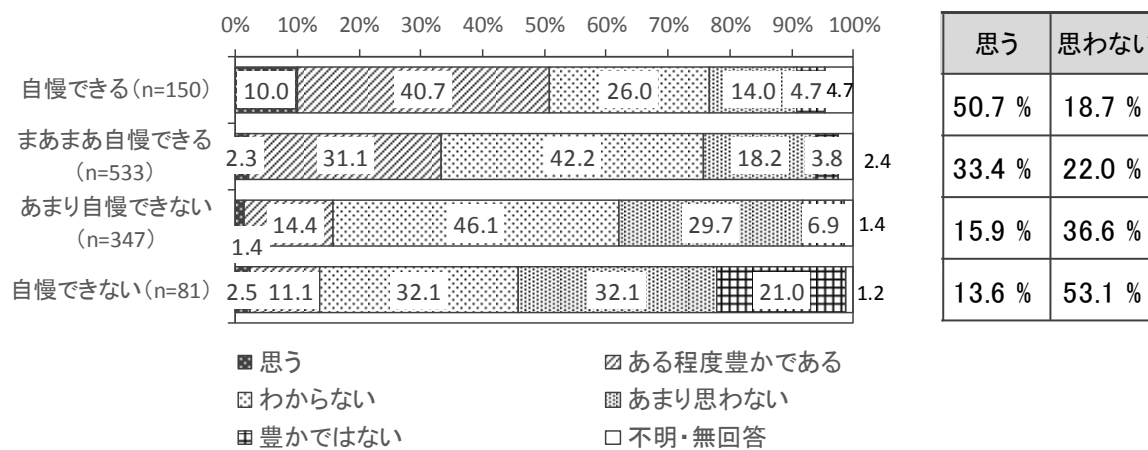


図 116 甲賀市の文化芸術について《問8 甲賀市の魅力を自慢できるか別》

(3) 文化芸術の充実により期待する効果【新規設問】

問24 文化芸術が充実することにより、どのような効果を期待しますか。(〇は2つまで)

○文化芸術の充実により期待する効果は、「人生のいきがい、楽しみ、喜びなどの充実感が高まること」が39.7%で最も多く、以下、「まちに活気が生まれること」が33.0%、「新しい交流が生まれたり、地域からまちづくりの機運が高まること」が24.9%と続いている。

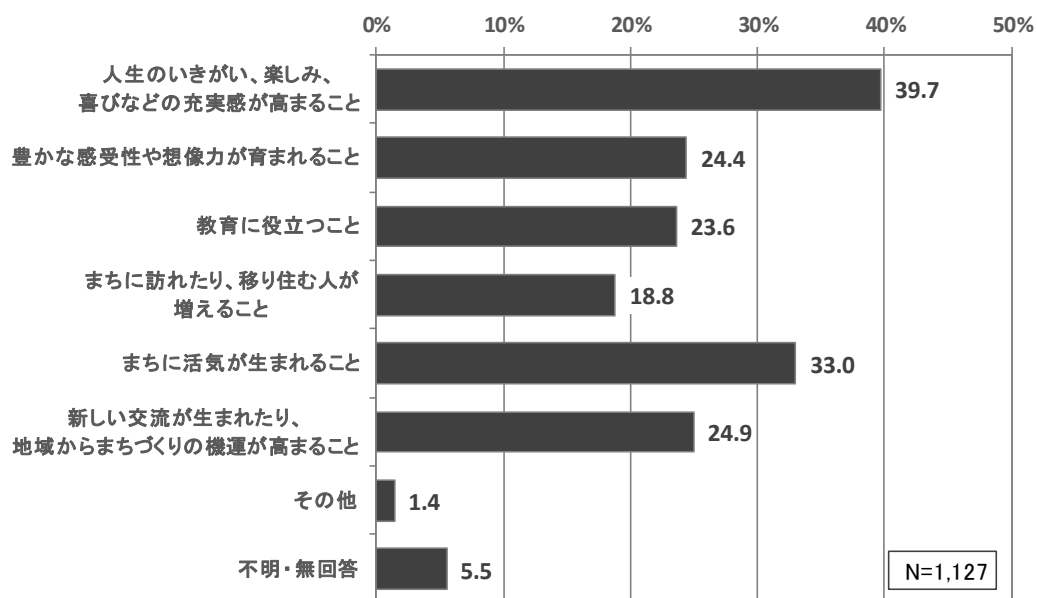


図 117 甲賀市の文化芸術について

- 性別にみると、男女ともに「人生のいきがい、楽しみ、喜びなどの充実感が高まること」と「まちに活気が生まれること」が上位2項目を占めている。
- 年代別にみると、50歳代以上で「人生のいきがい、楽しみ、喜びなどの充実感が高まること」が4割を超えており、他の年代と比較して高くなっている。また、30歳代では「豊かな感受性や想像力が育まれること」についても3割を超えて比較的高くなっている。
- 居住地域別にみると、すべての地域で「人生のいきがい、楽しみ、喜びなどの充実感が高まること」、「まちに活気が生まれること」が上位2項目を占めている。

単位：%

※太字は上位3つ(「不明・無回答」を除く)

(複数回答)		人生のいきがいの充実感が高まること	豊かな感受性や想像力が育まれること	教育に役立つこと	まちを訪れたり、移り住む人が増えること	まちに活気が生まれること	新しい交流が生まれ、地域からまちづくりの機運が高まること	その他	不明・無回答
全体 (N=1,127)		39.7	24.4	23.6	18.8	33.0	24.9	1.4	5.5
性別	男(n=507)	33.3	24.7	22.7	23.3	33.1	22.5	1.8	6.3
	女(n=602)	44.9	24.3	24.4	15.4	32.9	27.1	1.2	4.8
年代別	20歳代以下(n=92)	28.3	28.3	21.7	25.0	31.5	19.6	1.1	8.7
	30歳代(n=114)	26.3	35.1	28.9	26.3	38.6	15.8	1.8	1.8
	40歳代(n=146)	34.9	29.5	28.8	21.2	30.1	21.2	2.1	4.1
	50歳代(n=176)	42.0	27.8	22.2	18.8	35.2	26.7	1.1	1.1
	60歳代(n=263)	45.2	22.1	21.7	17.1	35.4	28.9	1.1	3.8
	70歳代以上(n=332)	44.0	17.2	22.0	15.1	29.8	27.4	1.5	10.2
居住地別	水口地域(n=476)	39.5	27.3	25.8	17.9	33.0	24.4	1.5	4.8
	土山地域(n=103)	37.9	17.5	19.4	20.4	35.0	31.1	0.0	6.8
	甲賀地域(n=141)	42.6	19.1	19.9	23.4	34.8	24.1	0.7	6.4
	甲南地域(n=269)	39.0	24.5	24.5	16.4	27.9	24.5	1.5	6.7
	信楽地域(n=135)	40.0	23.7	20.7	21.5	40.7	24.4	3.0	3.7

図 118 甲賀市の文化芸術について《性別・年代別・居住地別》

(4) 文化芸術の活動【新規設問】

問25 文化芸術の活動を行っていますか。(○は1つだけ)

○文化芸術の活動については、「していない」が60.4%で最も多くなっており、以下、「今はしていないが、いつか行いたい」が18.3%、「行っている」が11.7%と続いている。一方、「したいと思ったことがない」は5.9%と1割未満に留まっている。

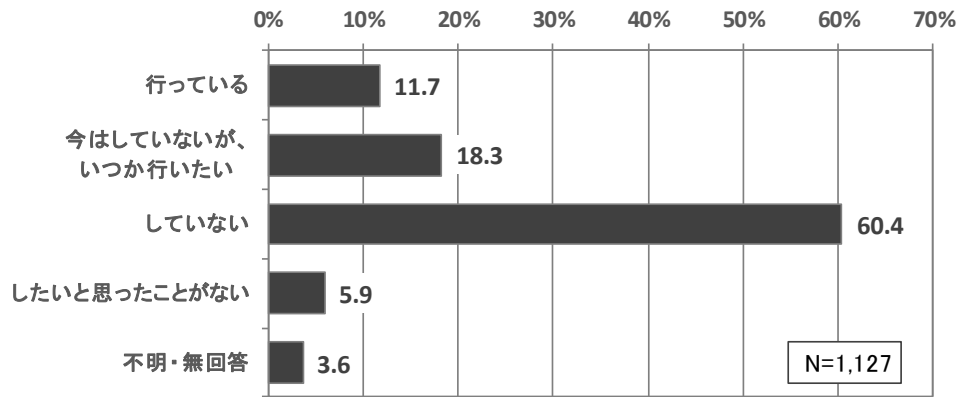


図 119 文化芸術の活動

○性別に文化芸術の活動についてみると、「したいと思ったことがない」で女性(4.7%)より男性(7.5%)の方が2.8ポイント高くなっている。

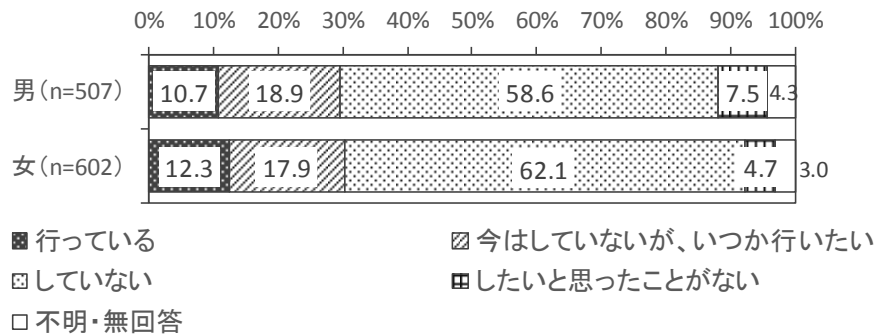


図 120 文化芸術の活動《性別》

○年代別に文化芸術の活動についてみると、60歳代以上で「行っている」の割合が高く、70歳以上（20.2%）では2割を超えている。一方、30歳代以下では、「したいと思ったことがない」が1割以上となっている。

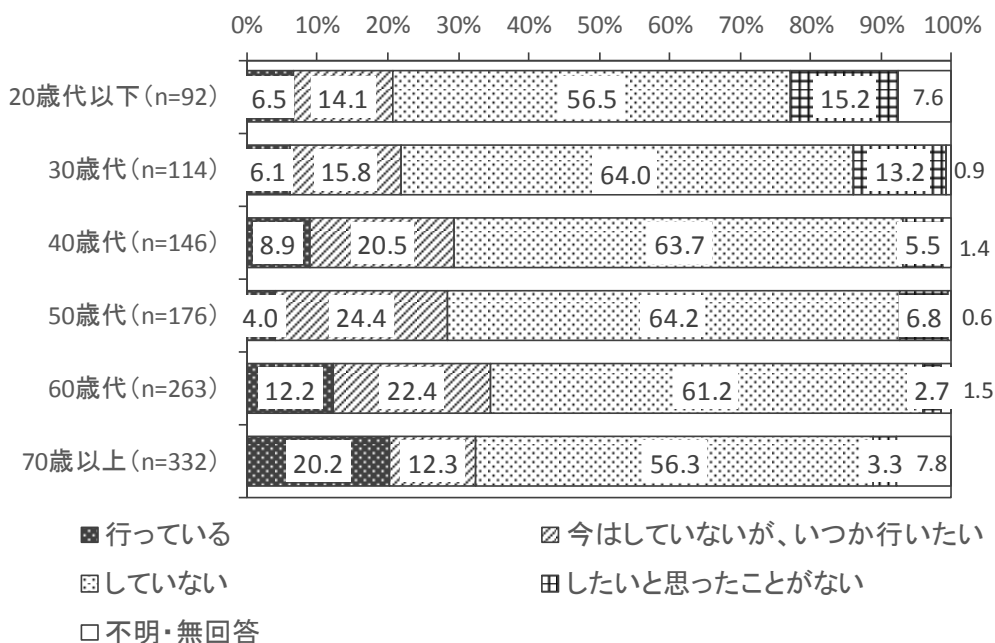


図 121 文化芸術の活動《年代別》

○居住地域別に文化芸術の活動についてみると、「行っている」は信楽地域で最も高く17.8%、以下、甲賀地域が12.8%、水口地域が10.9%と続いている。

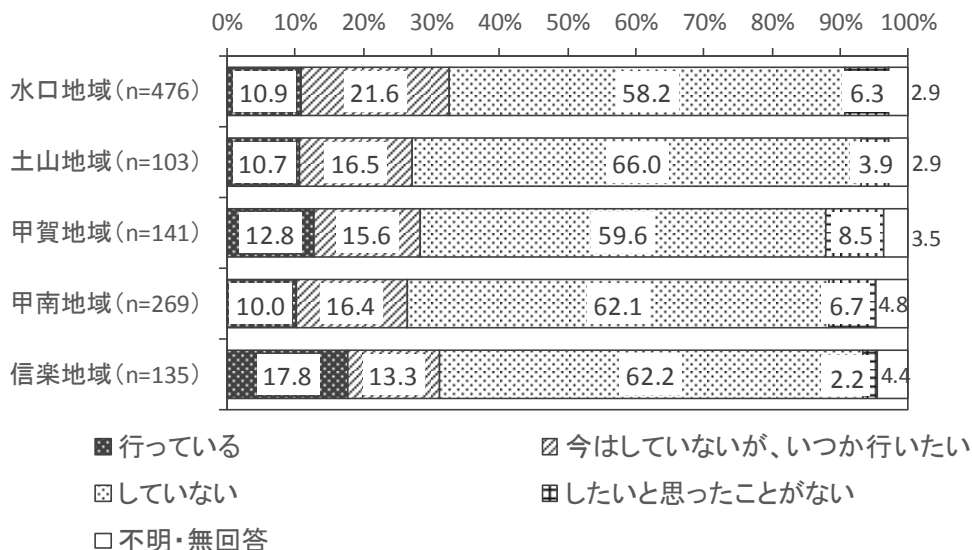


図 122 文化芸術の活動《居住地域別》

○職業別に文化芸術の活動についてみると、公務員で「行っている」(20.0%)、「今はしていないが、いつか行いたい」(40.0%) とともに最も高くなっている。一方、会社員と学生では「したいと思ったことがない」がともに1割を超えて、比較的高くなっている。

○文化芸術への関心(問22)別に甲賀市の文化芸術が豊かだと思ふ割合をみると、文化芸術に関心がある人では、「行っている」(20.3%)と「今はしていないが、いつか行いたい」(29.5%)を合わせて半数程度と高くなっている。

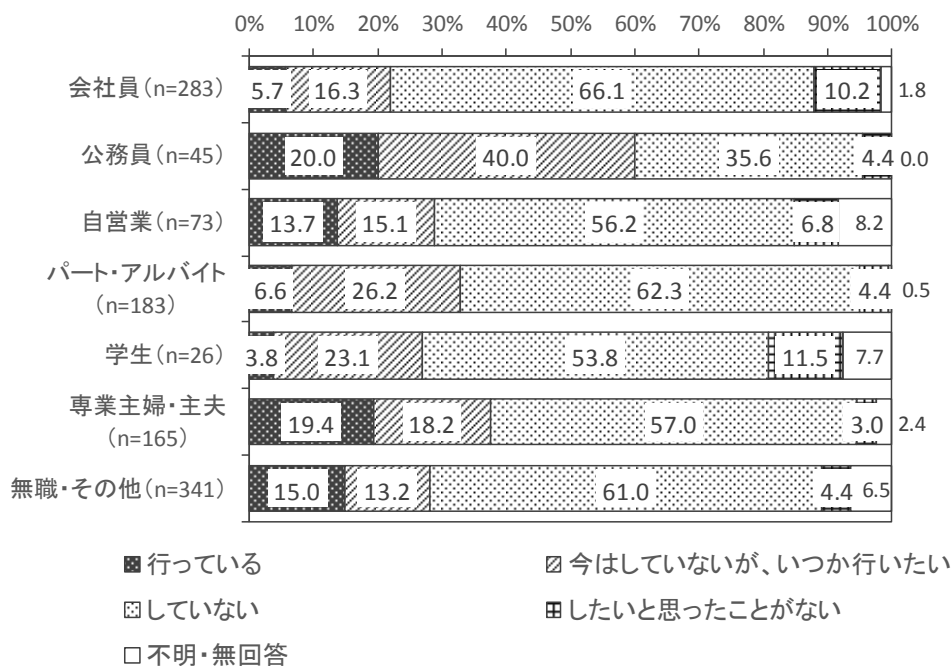


図 123 文化芸術の活動《職業別》

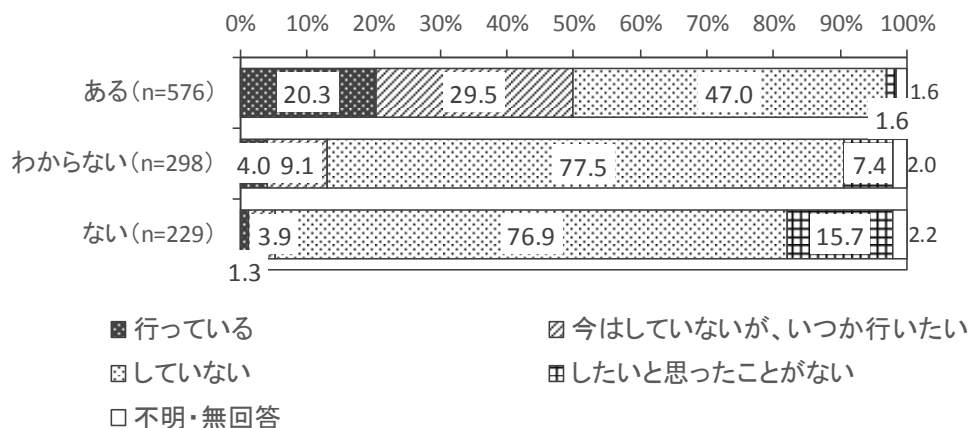


図 124 文化芸術の活動《問 22 文化芸術への関心別》

(5) 文化芸術に親しむための課題【新規設問】

問26 文化芸術に親しむための課題はどこにあると思われますか。(〇は2つまで)

○文化芸術に親しむための課題は、「文化芸術を鑑賞したり体験したりする機会が増えること」が44.7%で最も多く、「文化芸術を鑑賞したり体験したりする内容がわかる情報が公開されること」が33.9%、「公共交通機関が充実すること」が19.3%と続いている。

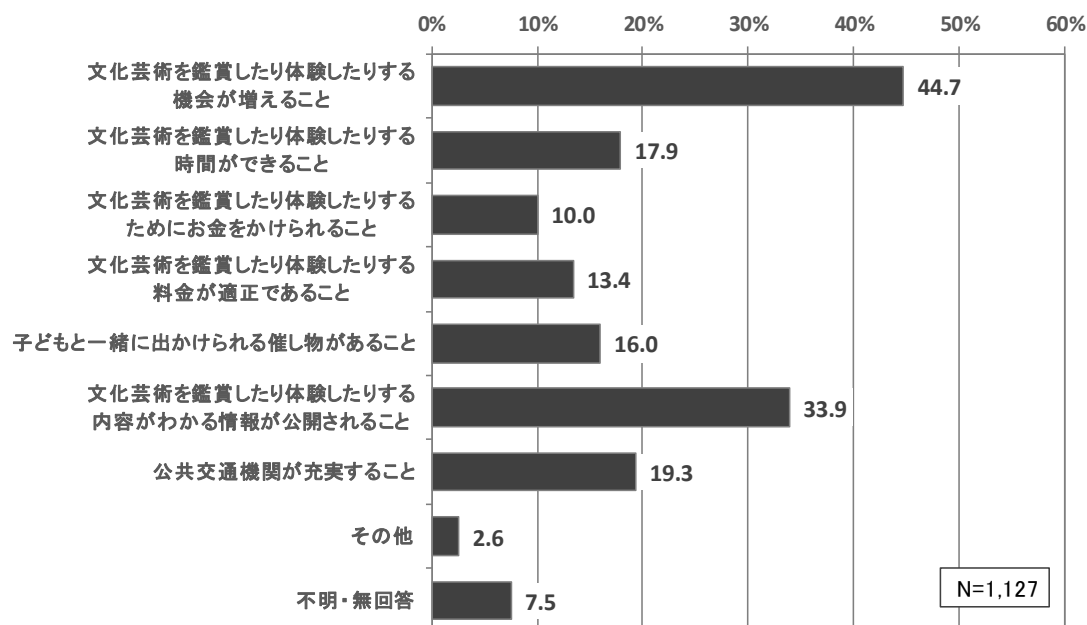


図 125 文化芸術に親しむための課題

- 性別にみると、男女ともに「文化芸術を鑑賞したり体験したりする機会が増えること」と「文化芸術を鑑賞したり体験したりする内容がわかる情報が公開されること」が上位2項目を占めている。
- 年代別にみると、すべての年代で「文化芸術を鑑賞したり体験したりする機会が増えること」が最も多くなっている。また、30歳代では「子どもと一緒に出かけられる催し物があること」についても4割を超えて高くなっている。
- 居住地域別にみると、すべての地域で「文化芸術を鑑賞したり体験したりする機会が増えること」と「文化芸術を鑑賞したり体験したりする内容がわかる情報が公開されること」が上位2項目を占めている。
- 文化活動別にみると、文化活動を行っている人では「文化芸術を鑑賞したり体験したりする機会が増えること」が6割を超えて特に高く、文化活動をしたと思ったことがない人では「子どもと一緒に出かけられる催し物があること」、「公共交通機関が充実すること」についても同率で、最も高くなっている。

単位：%

※太字は上位3つ(「不明・無回答」を除く)

(複数回答)		文化芸術を鑑賞したり体験したりする機会が増えること	文化芸術を鑑賞したり体験したりする時間ができること	文化芸術を鑑賞したり体験したりするためにお金をかけられること	文化芸術を鑑賞したり体験したりする料金が適正であること	子どもと一緒に出かけられる催し物があること	文化芸術を鑑賞したり体験したりする情報が公開されること	公共交通機関が充実すること	その他	不明・無回答
全体 (N=1,127)		44.7	17.9	10.0	13.4	16.0	33.9	19.3	2.6	7.5
性別	男 (n=507)	41.4	20.7	9.9	13.2	15.2	31.8	18.9	3.7	7.9
	女 (n=602)	47.7	15.9	10.1	13.6	16.6	35.0	19.6	1.7	7.1
年代別	20歳代以下 (n=92)	42.4	12.0	16.3	8.7	22.8	20.7	25.0	3.3	7.6
	30歳代 (n=114)	43.0	14.0	14.0	12.3	40.4	22.8	15.8	0.0	4.4
	40歳代 (n=146)	41.8	25.3	13.0	12.3	24.0	28.1	15.1	5.5	3.4
	50歳代 (n=176)	46.0	24.4	14.8	15.3	10.8	37.5	17.6	1.1	4.0
	60歳代 (n=263)	49.0	18.3	10.3	16.7	11.8	41.1	15.6	2.7	5.7
	70歳代以上 (n=332)	42.8	14.2	2.7	12.0	8.1	35.8	25.0	2.7	13.9
居住地域別	水口地域 (n=476)	44.1	17.6	13.2	14.3	19.5	34.7	15.5	1.7	6.9
	土山地域 (n=103)	46.6	25.2	7.8	12.6	8.7	33.0	23.3	1.0	9.7
	甲賀地域 (n=141)	43.3	15.6	5.0	15.6	15.6	32.6	17.7	4.3	11.3
	甲南地域 (n=269)	44.6	13.4	8.2	14.1	16.0	34.2	23.4	2.6	6.3
	信楽地域 (n=135)	46.7	25.2	8.9	7.4	9.6	31.1	23.7	5.2	6.7
文化活動別	行っている (n=132)	65.2	20.5	7.6	13.6	7.6	35.6	19.7	3.0	3.0
	いつか行いたい (n=206)	51.0	26.7	11.2	18.4	16.5	37.9	14.6	1.9	3.4
	していない (n=681)	41.6	15.7	10.3	11.3	16.7	34.9	20.0	2.3	8.4
	したいと思ったことがない (n=67)	25.4	14.9	11.9	16.4	25.4	16.4	25.4	4.5	10.4

図 126 文化芸術に親しむための課題《性別・年代別・居住地域別・文化活動別》

(6) 文化芸術の情報収集【新規設問】

問27 文化芸術の情報収集には、何が充実するとよいと思いますか。(〇は2つまで)

○文化芸術の情報収集において充実すべきものとしては、「市の広報紙」が48.2%で最も多く、以下、「テレビ、ラジオ、インターネット、新聞などでの報道、広告」が31.6%、「区・自治会の回覧」が24.6%と続いている。

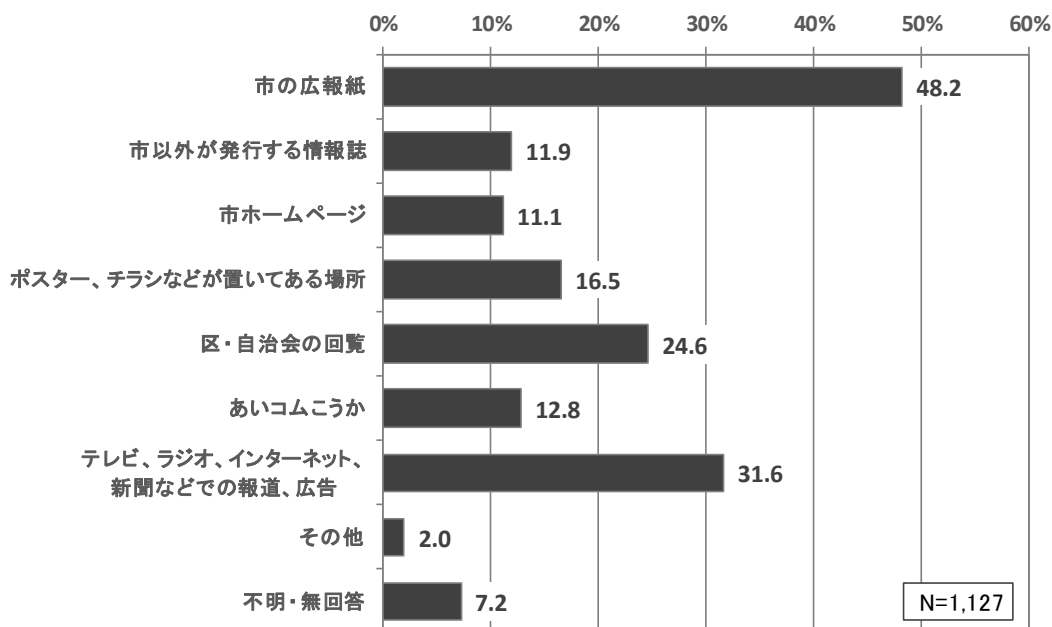
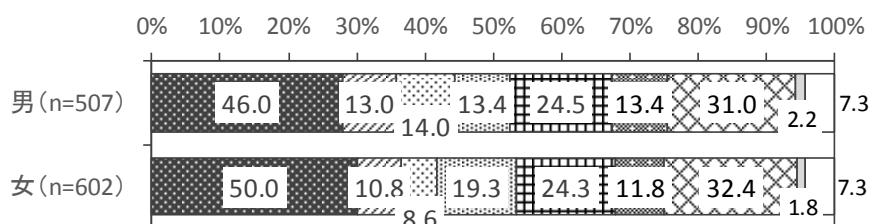


図 127 文化芸術の情報収集

○性別にみると、ともに「市の広報紙」が最も多く、性別で大きな差はみられない。



- 市の広報紙
- ▣ 市以外が発行する情報誌
- ▤ 市ホームページ
- ▥ ポスター、チラシなどが置いてある場所
- ▦ 区・自治会の回覧
- ▧ あいコムこうか
- ▨ テレビ、ラジオ、インターネット、新聞などでの報道、広告
- その他
- 不明・無回答

図 128 文化芸術の情報収集《性別》

○年代別にみると、年代が上がるほど「市の広報紙」の割合が高く、その割合が最も高い70歳代以上では59.3%となっている。一方、40歳代以下では「テレビ、ラジオ、インターネット、新聞などでの報道、広告」が4割を超えて最も多くなっている。

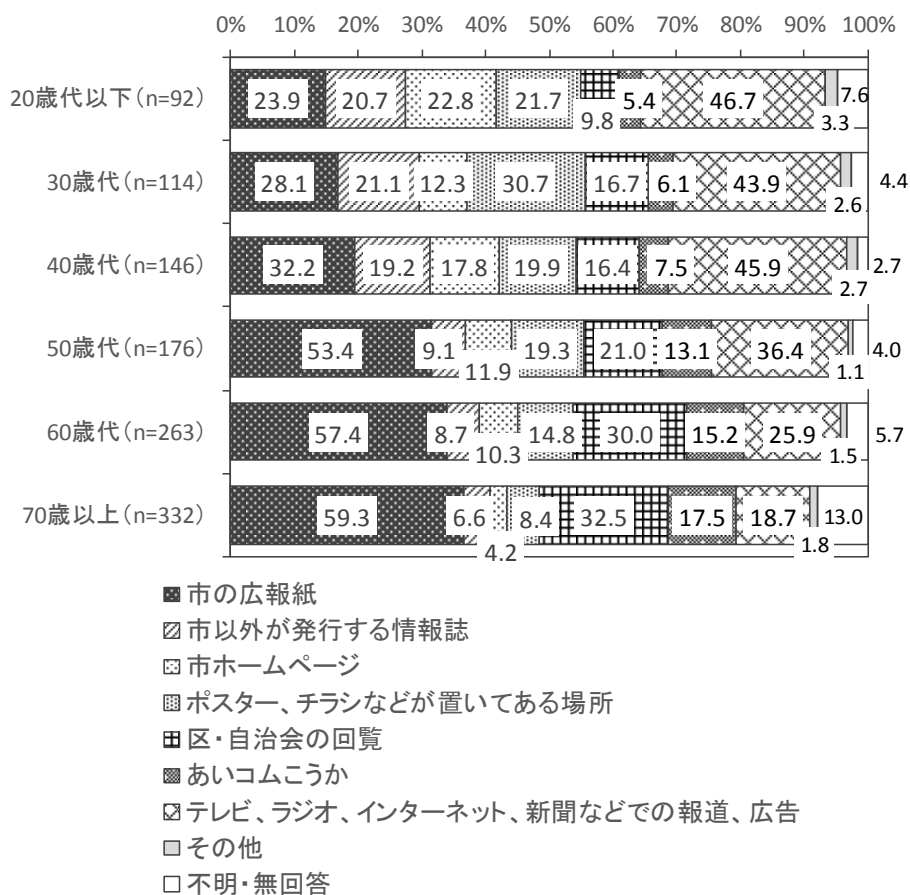


図 129 文化芸術の情報収集《年代別》

○居住地域別みると、すべての地域で「市の広報紙」が最も多く、5割前後となっている。

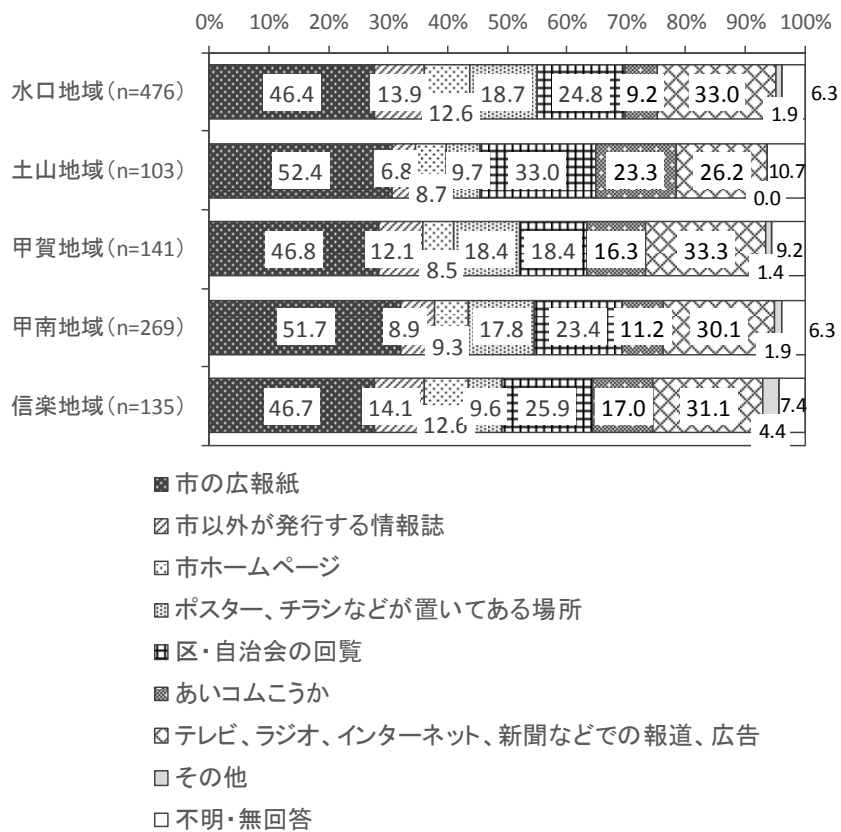


図 130 文化芸術の情報収集《居住地域別》